

＊参加無料＊

讃岐村塾歴史講座

あいさこうまづかこふん

相作馬塚古墳と5世紀の国際交流



講師：高上 拓 氏（高松市創造都市推進局文化財課）

田園風景の残る飯田町に、祠がまつられた塚がありました。塚の名前は相作馬塚。開発工事で壊されることとなり、事前に発掘調査を実施したところ、古墳時代(5世紀後半)の埋葬施設が未盗掘の状態で見つかり、古墳であったことが分かりました。

出土した豊富な副葬品や古墳の造り方の特徴から、被葬者像を解析する調査を実施しました。浮かび上がってきた被葬者像は、軍事的な役割を背景に、当時の国際情勢の中で遠隔地から渡来し、地域に根付いた人物の可能性のあることが分かりました。本講座では、相作馬塚古墳を手掛かりに、5世紀の国際交流の一端を解明します。

日 時：令和7年5月3日（土）

午後2時～午後3時30分

場 所：サンクリスタル高松 3 階

視聴覚ホール（定員220名）

【問い合わせ先】※事前申込不要
讃岐村塾事務局(高松市歴史資料館内)
高松市昭和町 1-2-20 TEL087-861-4520